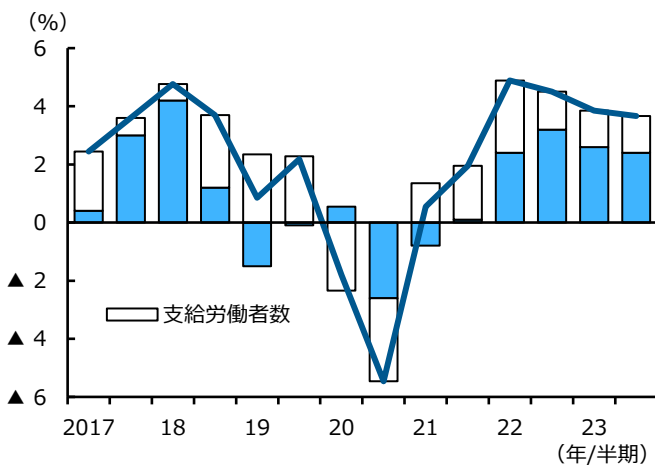


2023年冬季賞与の見通し

— 企業業績の回復や基本給の増加を受け、3年連続の増加に —

- (1) 今冬の賞与は3年連続の増加を予想。民間企業の支給総額は前年比+3.7%の増加となる見込み(図表1)。支給対象者が増加することに加え、一人当たり支給額も同+2.4%と増加(図表2)。
- (2) 背景には、賞与支給の原資となる2023年度上期の企業収益の改善。4～6月期の経常利益は、全産業で26.9兆円(前期比+9.5%)と過去最高水準(図表3)。製造業では、円安を背景に、海外子会社からの受取利息など営業外収益が増加。非製造業では、好調なインバウンド需要や国内家計のサービス消費の増加などを受け、サービス関連業種を中心に改善。
- (3) 賞与額算定のベースとなる所定内給与(基本給)の増加も賞与を押し上げ。本年の春闘における賃金交渉の結果が広まったことで、一般労働者の所定内給与は前年比+2%程度に増加(図表4)。
- (4) 国家公務員の一人当たり賞与は、同+3.1%の増加を予想。本年の人事院勧告では、民間企業の賞与回復などを踏まえ、賞与の支給月数の引き上げ(0.1月分)と月例給の増額(0.96%)を決定。

(図表1) 賞与の支給総額 (前年比)

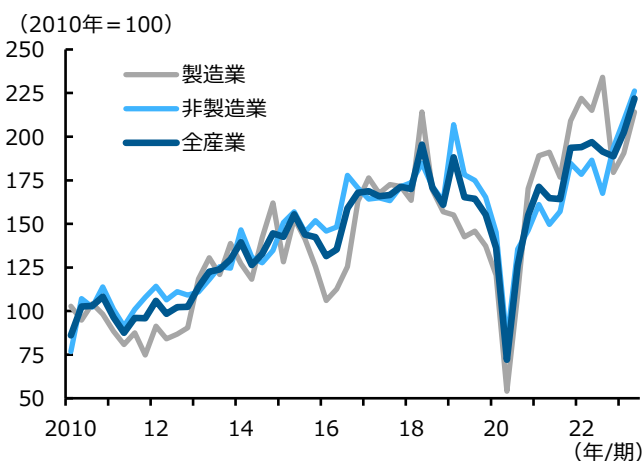


(図表2) 2023年冬季賞与 (一人当たり) の見通し

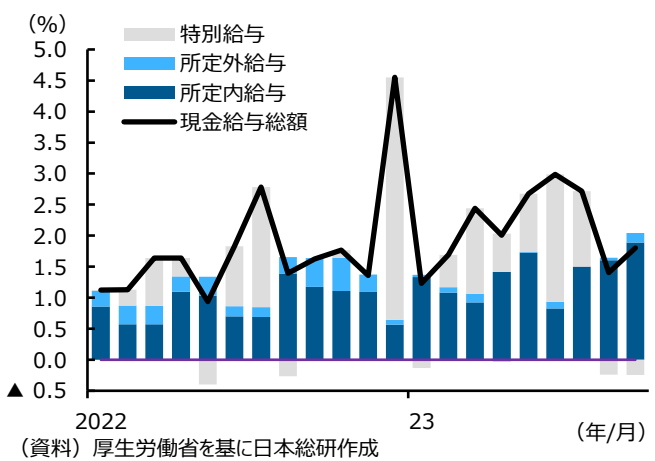
	民間企業			全事業所ベース	国家公務員
	製造業	非製造業			
2022年夏季(実績)	2.4	7.0	1.5	3.8	▲ 11.5
2022年冬季(実績)	3.2	2.4	3.4	3.3	0.1
2023年夏季(実績)	2.0	1.5	2.1	1.5	9.0
2023年冬季(予測)	2.4	2.0	2.5	1.9	3.1
支給額(万円)	40.2	52.4	38.1	33.1	67.2

(資料) 厚生労働省、内閣官房、人事院などを基に日本総研作成
(注) 全事業所ベースは支給のなかった事業所を含む値。

(図表3) 経常利益 (季調値)



(図表4) 一般労働者の賃金 (前年比)



【ご照会先】調査部 研究員 北辻宗幹 (kitatsuji.kazuki@jri.co.jp , 080-3727-6569)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものです。情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとして執筆者、執筆にあつた取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。